

備前市 事務事業 評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成10年度～			
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	01 豊かな食を支えるまちづくり
	小項目	施策	01 農業
事務事業名		12 山村地域等振興事業	
		根拠法令・規程等	
		担当課(室)	吉永総合支所 管理課
		職・氏名	主査 久保山 仁也
		電話	84-2513

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	山村振興地域(神根、三園地域)
目的(何のために)	農山村地域活性化のため
行政活動(どのような方法で)	地域の特性を活かしたイベントを開催する実行委員会に対し援助する
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	農林産物の展示販売を通し地域PR及び県内外からの来訪者との交流深める

事業の実績				
実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
開催数	回	1	1	1
直接事業費	千円	400	4,980	700
必要人員	人	0.28人	0.12人	0.11人
必要人員費	千円	2,618	899	882
事業費	千円	3,018	5,879	1,582
国・県支出金	千円		2,489	
受益者負担金	千円			
繰入金	千円			
市債	千円			
その他(施設使用料)	千円			
一般財源	千円	3,018	3,390	1,582
受益者負担比率	%			

結果指標名				
結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
集客数	人	1,800	2,300	1,900
対前年対比	%	-	127.8%	82.6%
活動コスト	円	3,018,000	5,879,000	1,582,000
単位当たりコスト	円	1,677	2,556	833

事業の成果						
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値	
		目標値(A)	3,000	3,000	3,000	3000人
対前年集客数		実績値(B)	1,800	2,300	1,900	到達目標年度
		達成率(B/A)	60.0%	76.7%	63.3%	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明						
前年度との集客数の比較						

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	妥当性評価<A~E> B 判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い 説明	県内外からの来客は、若干の減少傾向にある。本イベントは、地域活性化のためにも継続したほうが良いと思われる。しかし、毎年予算が減少してきているため、現状維持が難しい状況である。
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
	有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない
市民参画度		<input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	地域活性化のために必要であり、有効な手段である。

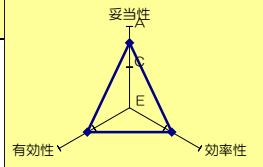
事業の目的、対象、内容を考えてから目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	3000人	結果指標量②	成果指標量	3000人	
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	ふるさと交流まつり実行委員会による企画運営を実施しているが、事務効率は向上していない。					

総合評価		評価区分<A~E>
地域活性化のために必要な行事であり、引続き交流まつりを開催するが、予算削減により現状維持が難しい。		C



平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	各地域において、イベントがあり統合廃止も考えられるが、地域活性化のためにも継続が望ましい。					
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		